

救急車はタクシーではありません!!

年々、全国的に救急車の出動件数が増加しています。常陸大宮市消防本部管内でも平成22年中は1,809件の救急出動があり、過去最高の出動件数となりました。そのようななか、全国的に救急車をタクシー代わりに要請する不適正利用例も多く発生しています。救急車は、けがや急病などで緊急に病院に搬送しなければならない傷病者のためのものです。緊急ではないのに救急車を要請したために、出動可能救急車が不足してしまうと、本当に救急車を必要とする事故や急病人が発生した場合に救急車の到着が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急車の誤った利用例 (不適切な利用の実例)

- ◆ 緊急性のある症状ではないが、救急車だと早く診察してもらえる。
- ◆ 今日、受診予約を入れているので救急車で連れて行ってほしい。
- ◆ 病院へ行きたいが、自家用車がない。
- ◆ タクシーだとお金がかかる。
- ◆ 診察が終わったあと、自宅まで送って欲しい。

考えてみてください！

もし、あなたや家族が、突然意識がなくなり倒れてしまい救急車を要請した時に、誤った利用による要請で出動可能な救急車が無かったら、どう思われますか？・・・



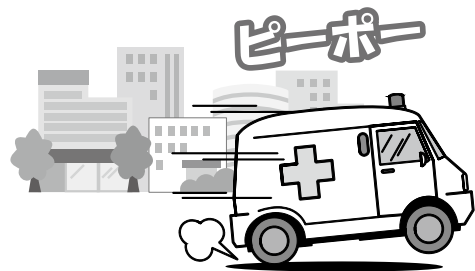
救急車は緊急のための自動車です

119番通報時「サイレンを鳴らさないで来てください」と言われることがあります。

救急車は、道路交通法により、「緊急車両」として認められ、条件として「赤色灯を点灯させ、サイレンを吹鳴する」となっています。従って、サイレンを鳴らさなければ「緊急車両」ではなくなります。

サイレンを鳴らさないで 出動する事は出来ません！

緊急車両である救急車を呼ぶということは「一刻も早く来てほしい」「一刻も早く医療機関へ連れて行ってほしい」等、緊急の時です！



救急隊支援（PA連携）出動

消防本部では、救命率の向上・被害の軽減を目的とした、消防隊の救急隊支援（PA連携）出動を行っています。

救急支援出動時に、消防車がサイレンを鳴らして走行します。火災と間違わないようご注意ください。

— 消防車のサイレン音で区別出来ます —

火災の場合・・・サイレン音『ウ〜ウ〜』+鐘の音『カンカン』
火災以外の場合（PA連携、救助など）・・・サイレン音『ウ〜ウ〜』

